

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「地域の人に支えられ、歩んでいこう、ゆうゆうで」という理念を、職員の中より言葉を出し合い、玄関に掲げている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>日々の係わりの中で職員と入居者の気持ちのつながりができつつあり、職員は新たな理念を胸に留め取り組み始めている。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>理念は手書きによりホームの玄関に掲げ、法人広報誌・ホームページに掲載する事により、広く理解してもらえようになっている。</p>	
2.地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>地域の方が、畑の世話や椎茸栽培などがかかりを持って下さっている。また、併設のデイサービスに来られる利用者の訪問や、婦人会、民生、敬老会などに携わる方がたの訪問があり、職員も心安く話しが出来るようになっている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域のクリーン作戦に年2回参加し、清掃作業を手伝う他、文化祭に入居者の作品を出品し、見学に行っている。また、地域のボランティア(習字・蓄音機、レコード貸し出し・朗読等)の参加がある。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	トライアルウィークで中学生の受け入れのほ か、地域の民生委員や婦人会などの見学希望には 応じているが、高齢者の暮らしに役立つことにつ いては、まだ具体的には取り組めていない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 第三者評価を実施する意義を理解し、評価 を活かして具体的な改善に取り組んでいる	グループ会議で、職員に自己評価及び第三者評 価を実施する意義を伝え、理解を深めるよう話し 合ったうえで、検討している。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	第1回(2月)、第2回(5月)に実施。地域住民、家 族、入居者、行政を交え報告、意見交換を行って いる。また、ホームの行事にも参加頂いている。		今後、色々な行事に参加頂き、意見をお聞きし ながらより理解を深め、取り組んで行きたい。
9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以 外にも行き来する機会をつくり、市町とと もにサービスの質の向上に取り組んでいる	町担当者に質問事項など積極的に行い、アドバ イスをもらっている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	現在、該当者はいないが、介護福祉士及びヘル パー資格取得時、職員研修において、学んでい る。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	職員研修及び接遇研修において、学んでいる。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入・退居時に、本人、家族への説明を行い、理解・納得を図るとともに、相談などにはアドバイスをを行っている</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付担当者を契約書に明示し、苦情報告書で解決に向けて取り組んでいる。職員は、日常の会話の中で入居者が意見や苦情を話せるよう接し、引継ぎ帳や必要な時は会議などで、話し合うようにしている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月、入居者の心身状況報告書を家族に送付している他、家族訪問時や、必要時に電話などで報告を行っている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>と同様である。また、運営推進会議に家族参加して頂いている他、家族会の集まりの際に、意見や苦情、要望を出して頂く時間を設けている。</p>	<p>運営推進会議には、出来るだけ色々な家族に参加頂く予定である。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回の処遇会議や、管理者による個人面接(年2回)を実施、意見や提案を聞く機会を設けている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>行事に合わせた勤務体制を組んでいる。職員との話し合いで、勤務変更は可能である</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>開設時より1回異動を実施している。退職においては、入居者に説明し理解を得ている。職員は、移動後もそれぞれのユニットへ行き来するようにし、入居者とのコミュニケーションを大事にしている。</p>	
5.人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月1回の法人内での職員研修また、外部での新人研修や認知症実践研修に参加する他、必要に応じて研修を受ける機会を確保、介護福祉士取得の為に施設内勉強なども行っている。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会において、情報交換の場を持てるようになり、2ヶ月に1回、会議を開く予定である。また、他グループホーム職員の実習受け入れを実施している。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>慰安旅行、新年会、忘年会、運営者を囲んでの食事会など、行っている。</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>年度初めの目標作文、及び年2回の個人面接を実施し、職員一人ひとりが自身の目標を持って業務にあたり半年後、振り返りの機会を持てるようにしている。また、人事考課を導入、職員に対しても自己評価を行っている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>アセスメントシートを活用し、事前面接をおこなっている。本人の不安なこと、求めていることを全て聞き出す事は難しいが、不安なことには解消へ向けての方法を明示し、本人の思いを受け止めるようにしている。</p>	<p>アセスメントシートの見直し・改良</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前面接を行い相談の機会を設けている。不安なこと、求めていることをその時点で把握することは難しいが、受けとめるよう努力している。</p>	<p>アセスメントシートの見直し・改良</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>併設特養利用案内、ケアマネ・行政を含め利用支援を願うようにしている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前訪問、試用的入居など行っている。入居時に馴染みの家具などを持ち込んだり、職員や他の入居者に紹介し、共通の話題などでその場の雰囲気に馴染めるようにしている。</p>	
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者の生活歴や経験などを拝聴し、生活の知恵として教えて頂いたり、時に注意いただいたりしながら、少しずつ支えあう関係ができつつある。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	入居者の状態変化について、家族とホームとが解決に向けて話し合い対応していけるよう協力があるが、お世話になっているからと、ホームに任せてしまう家族もある。		
29	利用者と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ホームでの行事や、ご本人の誕生会には家族が参加できる機会を作り一緒に過ごせる時間を設けている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人などの訪問時には、できるだけゆっくり一緒に過ごして頂けるよう雰囲気作りに努めている。 ご本人が以前住んでいた所は、家族の了承が必要になるため、なかなか希望どおりに行けないのが現状である。		入居者と職員との話し合いや信頼関係において、馴染みの場所に行きたいとの希望に添えるよう、家族に理解していただけるよう働きかけていきたい。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士仲の良い関係ができているが、身体的に入って行けない入居者がいるのも事実である。職員と一緒に入り、理解してもらうよう努めている。また、入居者が歌う事が好きなことから、一緒に唄うことで一体感を持っていただけるよう工夫している。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	当ホームより、併設の特養に移られた方については、時々様子をみに伺っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常の会話や関わりの中で入居者の希望や意向を引き出すようにし、自ら表わせない方については、本人本位に、また家族にも聞くようにしている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時のアセスメントにて、本人及び家族より聞き、また、入居者との日常の会話や家族訪問時などに聞き、把握に努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日常生活動作記録及び引継ぎ帳記録することにより、職員全員が入居者の状態を把握するように努めている。</p>	
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画作成について、本人及び家族より意見や希望を聞いたり、主治医のアドバイスを仰いで、それを介護計画に反映できるようにしている。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎に見直しを行い、入居者の身体状況が変化した場合は新たに計画を作成するようにしている</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者個人の日常生活記録、及びケース記録に記入し、引継ぎ帳に入居者についての伝達事項を記入し職員間の情報の共有に努めている。大切な事は口頭で伝えるようにも気をつけている。		
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設特養への行事参加などで交流がある。家族の希望で、入居者と共に居室に宿泊する事は可能である。		
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	習字教室、朗読ボランティア、外出ボランティアの協力を得ている他、町の文化展には、作品を出品。消防署の指導により、防火訓練を年2回行っている。		
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	神河町運営推進会議、グループホーム連絡会などで、他事業所・行政などのサービスを把握し、交流を深めている。		
42	地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	入居者及びその家族の事情により、地域包括支援センターの職員に相談中であり、ホームとして相談を受け入れる体制はできている。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に掛かり付け医を確認し、受診を継続しているが、緊急時はご本人又家族の同意を得て、ホームの協力医院に受診して頂いている</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>入居者の中には、入居前よりかかりつけ医として認知症の症状の相談に応じてもらっている</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>併設施設の看護師に緊急時の対応や処置の仕方、日常の健康管理についてアドバイスをもらっている</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入居者が入院した場合、面会などで常に病院での状態を把握し、必要時には病院の関係者と話し合い退院に備えて支援している</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>今まで1名、家族の意向によりホームで最期を看取ることができたが、全員の入居者や家族と話し合いはできていない</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>今現在は、該当者はいない</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>現在、1入居者の家族が検討中であり、いつでも情報提供が出来るようにしている。</p>	
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個々の身体能力に応じた援助を行いながら、プライバシー保護には配慮している。また、個人記録は外部の人や入居者の目に触れないように管理している</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者の中には自分の暮らしがより良いものになるよう、なじみの職員に希望を話し実現しながら暮らしている方もおられる</p>	<p>意思表示ができない方や思いを表わせない方については、今後の関わりの中で引き出せるよう支援していきたい。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者の希望を全て聞き入れる事はできないが、自宅に帰宅したいとの希望がある入居者には家族と相談し、日帰りではあるが2度ほど帰ることができた。</p>	
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>入居者(女性)の誕生日や祭りの時など希望に応じてお化粧をしたり、外出時の服を楽しんで選べるよう配慮している。理美容は、併設施設に週1回来荘する美容サービスを利用しているが、本人が希望すれば望みの店に行けるように対応している</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者の好みの料理を献立に取り入れたり、意見を聞き献立に活かしている。野菜の皮剥きなど下ごしらえ餃子作りなど、楽しみながら行っている。片付けなどは、入居者数人が、自分の役割のように思い、職員と共にしている</p>	
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>お茶の時間には、糖分・塩分摂取に気をつける必要のある方に配慮しながら、好みのものを飲めるようにしている。また、外食や行事等で希望があればお酒を飲んで頂いたりしている</p>	
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>声かけ、トイレ誘導し、できるだけトイレでの排泄できるよう支援し、失禁にたいしては、プライバシーに配慮しながら、温かいタオルで清拭を行う事により、清潔を保つよう努めている。 (シャワー浴をする場合もある)</p>	
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>午後2時から4時半頃までが入浴時間となっているのが現状である。</p>	
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>困難な方には、トイレ誘導・口腔ケア・着替えという動作の流れで入眠できるようにし、夜間寝られない場合には、飲み物などで落ち着けるよう配慮している。現在、夜間不穏になる方については、家族、医師と夜間安眠できるよう相談、対応している</p>	
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>掃除、炊事、洗濯の手伝いを自身の役割と行い、畑に植えた苗が育ち、採れた野菜が食卓にのる事、天気良い日に自身で外に出、外気浴するなど、ささやかではあるが支援している。共通の楽しみとして皆で歌を唄う機会を設けている</p>	<p>会話の中で、個々の楽しみな事を引き出し、支援していきたい</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持している入居者は、数名あり外出時にそれで買い物をしたり、職員が買い物に出る際に好きな物を頼んだりしているが、家族の了解で使わなくても手元に持っている方もある		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	晴れた日の散歩や、買い物など、入居者の希望にそって出かけられるよう努力している。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外出行事として、花見やフラワーセンター、西脇健康ランド、ヤマサ蒲鉾工場見学などに出かけた。入居者の希望としては寿司店へ行ったり、自宅までドライブしたが、個々の希望を実現するには至っていない		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や親戚、知人などへの電話や便りのやり取りを支援している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	特に時間を決めず、いつでも訪問して頂けるようにしている。入居者の居室のほか、畳スペース、ソファのスペースなどで歓談できるよう配慮している		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	宝寿会全体で、身体拘束をしない方針となっている。職員研修会等において、説明を行い日々の処遇に活かしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている</p>	<p>家人訪問時などに日ごろの様子を話す中で、普段起こり得るリスクについても説明し話し合っている。</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日、定期的バイタルチェック(血圧・体温)を行う他、日常においても顔色や食事摂取量などに気をつけている。異変に気づいた時は、他の職員にも口頭で伝え一緒に確認し、その後の対応を速やかに行っている。また、対処後は、引継ぎ帳にて周知徹底を図っている。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>入居者の個人ファイルに、薬の説明書を添付しており、職員は理解している。個々の身体状況に応じ袋の名前などを確認し、誤薬のないように努めている。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>毎日の食事の献立で野菜を多く取り入れたり、一日の水分摂取量に気をつけ、毎朝のラジオ体操や軽い掃除など働きかけているが、運動不足の方もおられる。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>夕食後、口腔ケアの声かけをしている。個々に、居室で義歯洗浄され、自分でできない方については、介助している。</p>	<p>朝・昼食後も口腔内の洗浄を呼びかけ、どの入居者も清潔が保てるようにしていきたい。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立作成時に肉と魚のバランスを考え、野菜をできるだけ取り入れている。食べる量については、食事チェック表や毎月の体重なども参考にしている。水分については、食事以外で、起床後、10時、15時、入浴後、その他希望時に飲み物が飲めるよう支援している。居室にやかんを置いている方もある。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルがあり、活用している。日常的には、1行為1手洗いの励行、使い捨てペーパー、使い捨て手袋の活用、手すり・トイレ便座の消毒、などを行っている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材買い物の際は、賞味期限を良く見て購入。使用した食器・調理用具は乾燥機にて乾燥。冷蔵庫内は、週1回程度整理し、消毒。布巾は使用後漂白剤にて消毒。まな板は使用後熱湯及び漂白剤にて消毒。カウンターは、ア・ブルコートにて消毒。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	併設施設の工事が終わり、ホームへの道が広がっている。植木や花などを植え、明るく親しみを持てるようにしている。		ホームへの看板を立てるよう検討中である。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは光が適度に入り明るく、キッチンの様子、料理の匂いがわかるようになっている。壁の装飾や、季節の花などで、季節を感じられるよう工夫している。窓から観える山々、木々の様子、鳥の鳴き声もそのひとつである。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳スペースのこたつ、ソファ、椅子とテーブルのコーナーなど、思い思いの場所で過ごせるようにしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		職員それぞれが認知症について勉強を深め、入居者のわかる力を活かした支援がさらに出来るよう取り組んでいきたい。
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・毎日の食事は、職員が食材の買い物から調理まで行っています。季節の食材を取り入れるように工夫しております。ご入居者との会話に中で、昔食べていた物や、その時々のおいしい物がまれば直ぐに、料理に取り入れ喜ばれています。手伝い等も個々の身体状況に合わせて、して頂いております。
- ・地域の人のご協力、ご指導により、畑作りを行い、ご入居者に収穫の喜びを味わって頂いております。